

東木之部宝篋印塔

ひがしきのべほうきょういんとう

市指定

所在地：東木之部



薬師堂横の尾根斜面に、2基の宝篋印塔がある。両者とも、台石には複弁の反花座をつけ、側面に輪郭をとりその中に格狭間を刻んでいる。軸石には月輪を刻み、その中に四仏の種子を刻んでいる。2基はほぼ完全な状態で残されており、南北朝期の造立と考えられることと合わせてその価値は高い。

笠石の隅飾り突起が、右側の宝篋印塔の方が直立しており、やや古い時期のものと見られる。